

ネットワーク活用	講 義 資 料	講義日	年	月	日
①	情報セキュリティの確保	氏名			

第1節 情報化社会の現代

問題1 情報機器(情報端末)の使用台数を答えましょう。

- モバイルデバイス () 台
 - ウェアラブルデバイス () 台
 - I o T機器 () 台
- 合 計 () 台

★インターネットへの接続

() 回線)…いわゆる光回線。光ファイバーを各利用者の敷地内に敷設することで、高速な通信回線を提供する。

() 回線)…一般のアナログ電話回線を流用して通信サービスを提供する。2000 年代に急速に拡大したが、FTTH 回線の登場により、徐々にサービス終了としている事業者も多い。

問題2 インターネットを利用しているときに遭遇したヒヤリハットやトラブルを挙げてみましょう。

ヒヤリハット（トラブルや事件にまでは至らなかった）を経験したことがある ☐ はい ☐ いいえ

どんなヒヤリハットでしたか？

トラブル・事件・サイバー犯罪に巻き込まれたことがある ☐ はい ☐ いいえ

どんなトラブル・事件・サイバー犯罪でしたか？

★情報化社会がもたらすメリット・デメリット

メリット	デメリット
● 企業の () 向上 ● 商圏の拡大 ● 利便性の増進 ● () なコミュニケーション ● 娯楽の拡大 ● () の情報伝達網	● 企業の () を狙うサイバー犯罪 ● 高度な特殊詐欺事案の発生 ● 停電や大規模災害によるサービスの停止

第2節 サイバー犯罪と情報セキュリティ

★サイバー犯罪とは

() (ネット犯罪)…主にコンピュータネットワーク上で行われる犯罪の総称のこと。
サイバー犯罪の検挙件数は年々 () 傾向) にあり、() の重要性が高まっている。

★情報セキュリティとは

情報セキュリティ… (情報の)、(情報の)、(情報の) を確保すること

情報の	外部に情報が流出しない
情報の	情報が常に欠損なく最新である
情報の	使いたいときにいつでも使える

★情報システムを取り巻く脅威

情報システムを取り巻く脅威は () 脅威)、() 脅威)、() 脅威) の3つである

脅威	システムへの侵入、破壊行為、故障、停電、災害など
脅威	不正アクセス、盗聴、DoS 攻撃、コンピュータウイルスなど
脅威	誤操作、機密データの持出し、不正使用、PW の不適切管理など

問題3 次に示す情報セキュリティインシデント（事案）の実例を見て、グループワークをしましょう。

10月31日にサイバー攻撃を受けて電子カルテシステムに障害が発生している「大阪急性期・総合医療センター（大阪・住吉区）」は、31日の通常診療を停止していましたが、11月1日についてもシステムの復旧に至っておらず、通常診療などを停止するなど影響が続いています。

「大阪急性期・総合医療センター」では31日午前中に電子カルテシステムに『システム障害』が発生しました。そのため、31日の外来診療に加えて、予定されていた手術や新規での救急患者の受け入れを停止するなど、通常診療ができない状態となっていました。

31日夜に開いた会見で、電子カルテシステムのサーバーにサイバー攻撃を受けて「ランサムウェア」と呼ばれる身代金要求型ウイルスに感染したことが確認されたと明らかにしました。今回のシステム障害による情報流出は現時点では確認されていないということです。

① この文章から読み取って、どの脅威が該当するか。

(○：読み取れて該当すると断定できる | △：読み取れないが該当する可能性がある | ×：該当しない)

物理的脅威 ()	技術的脅威 ()	人的脅威 ()
-----------	-----------	----------

② この文章から読み取って、情報セキュリティで確保すべき3要素の内、どれが脅かされたか。

(×：完全に脅かされている | △：今後脅かされる可能性がある | ○：今回は脅かされていない)

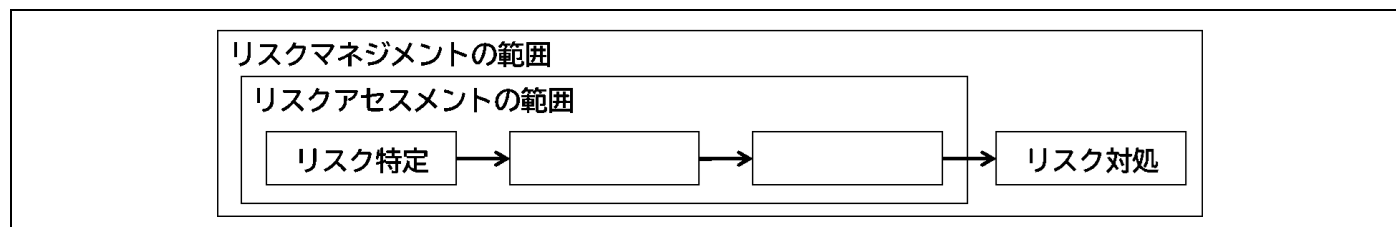
情報の機密性 ()	情報の完全性 ()	情報の可用性 ()
------------	------------	------------

★企業におけるリスクマネジメント・CVSS

() …リスク（ある事象が発生したときに損失する危険性）を特定して、分析・評価し、対処すること。

()（共通脆弱性評価システム）…IPAが提供するソフト・システムなどのセキュリティ上の欠陥がどれだけ重大かを判断するための評価方法

★リスクマネジメントの概要図



★CVSS（共通脆弱性評価システム）評価の3本柱

